

# KIND

金城大学 後援会 会報誌【カインド】 2007年3月発行号(第6号)

## 《トピックス》

新入生合宿研修／福祉創造フォーラム

## 《学園情報》

「医療健康学部」「こども専攻」新設

## 《活動レポート》

- 大学行事 ● 18年度入学式、卒業式、オープンキャンパスなど
- クラブ・同好会 ● 卓球部・女子バレー部 今年も全国大会で活躍
- 研究活動 ● 特別研究活動、市民参加協力事業
- トピックス ● 短大部共同の「公開講座」、「ゆうがく広場」への取り組み
- 「北國健康生きがい事業」、白山市との共同事業など
- 後援会 ● 18年度後援会総会などの報告

## 《キンジョウライフ》

就職進学支援室より ● 15～17年度進路結果、19年度支援行事(社会福祉士国家試験対策)



# 新入生合宿研修

新入生の皆さんが戸惑うことなく、スムーズに大学生活をスタートできるように、平成18年度から「新入生合宿研修」を実施。有意義なオリエンテーションおよび交流を深める場となっています。



本田学長の講話

**福祉の現場で要求される  
コミュニケーションスキルも学ぶ**

平成18年度から新たな試みとして、社会福祉学部  
の1年生を対象に「新入生合宿研修」を実施しまし  
た。研修会場は「国立能登青年の家（羽咋市）。学生  
相互および学生と教職員の親睦を深めること、入学  
時の不安や学ぶことの意義を語り合い今後の学生生  
活の過ごし方を考えること、福祉の現場で要求され  
るコミュニケーションスキルを学ぶことを目的とし  
て、1泊2日の合宿研修を行いました。

1日目には学生生活についての講話、学長の講話、  
懇親会を行い、2日目はフレッシュタイム、レクリエー  
ション研修というプログラムでした。

合宿研修後のアンケート結果では、学生の大半が  
満足できたとの回答でした。平成19年度も実施の予  
定で、さらに充実した合宿研修が行えるよう計画し  
ています。

## 《学生感想文》

社会福祉学科介護福祉コース／川岸佳奈恵

今回の新入生を対象とした合宿は、今年度初めて  
実施されたそうなので、先輩にどのようなものかを  
聞くこともできずに、不安と期待をいっぱいにして参  
加しました。

宿舎に着いてからは、学長の本田先生や就職進学



先輩たちの話

支援室の岡森室長の講話を聴き、自分たちの今後の  
大学生活4年間の計画を立てました。4年間とい  
うのはとても長く感じるけれど、計画を立て目標を持  
つことで充実した4年間を過ごせそうな気がしまし  
た。その後、先輩方に金城大学についての話をしても  
らい、金城大学での生活がどんなに楽しいものかを  
知ることができました。夜の懇親会では、ランダムに  
組み合わされたグループに先輩と先生が1人ずつ付  
き、楽しいゲームなどをしました。初めて顔を合わせ  
る人ばかりでしたが、仲良くなれたと思います。

次の日は朝早くからラジオ体操を行い、しっかり  
目を覚ましました。この日は全学生参加だったので、  
昨夜のグループの人たちだけではなく、より多くの  
人と話すことができました。特に、最後に全員が輪に  
なつて行ったリズムにのって肩たたきするレクリエー  
ションは、みんなが一つになつたような気がしてとて  
も良かったです。

合宿を通して一番良かったことは、たくさんの友達  
が一度に増えたことです。4年間を過ごすにあたって  
の目標も立てることができ、この合宿に参加して本当  
に良かったです。

# 福祉創造フォーラム

産業界、行政、福祉・保健・医療機関、そして教育機関による情報交換・交流を促進し、地域社会への貢献を可能とする環境創出を目指して、第1回「福祉創造フォーラム」が開催されました。



大講義室は約180名の参加者で埋まった

福祉向上に具体的に貢献できる  
拠点となることを目指して

平成19年2月18日、福祉創造フォーラム第1回大会が本学で行われました。テーマは「福祉の未来を語る―明日の豊かで健康的な暮らしを目指して―」。基調講演に京極高宣氏、シンポジウムでは山本省五氏、雄谷良成氏、外丸妙美氏、阪井由佳子氏、村上満氏をお迎えし、約180名の方に参加していただきフォーラムが開催されました。

近年、高齢化の進展に伴い、国民の福祉に対する関心が一層高まっています。「明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的人材を養成する」との建学の理念をもつて設立された金城大学には、地域住民から大きな期待が寄せられており、本学には、地域福祉の拠点となつて、社会に貢献すべき重要な使命があります。こうした使命を果たしていくために「福祉創造フォーラム」はスタートしました。

その目指すところは、豊かで健康的な暮らしを創造する福祉の更なる充実、産業界や行政、福祉・保健・医療機関、そして教育機関による情報交換および交流の促進、それらの有機的な連携と地域社会への貢献ができる環境を創り出すとともに、福祉関連の研究開発を促進し、地域社会のより豊かな生活の向上と、国民生活の福祉向上に具体的に貢献できる拠点となることです。



シンポジウムの様子



京極高宣氏による基調講演

# 「医療健康学部」「こども専攻」新設

平成19年4月、金城大学は「医療健康学部」と「こども専攻」を新たに開設します。医療健康学部では理学療法士、こども専攻では「こども」の専門家の養成に取り組んでいきます。



新築された医療健康学部棟

理学療法士が必要とされる領域は  
さまざまな分野に広がっています

理学療法とは、病気やケガなどで身体が不自由になった人に対し、心身両面から機能回復・維持を図る医療のひとつです。理学療法士は、理学療法分野の専門職として、各個人の状態に応じた適切な治療方法・目標を設定し、治療を進めていく役割を担っています。

さらに、現在では理学療法士が必要とされる領域は、医療はもとより、保健・福祉、教育、スポーツ、地域社会など、さまざまな分野に広がっています。

しかし、どのような分野であっても、理学療法士が接し、支えていくのは「人」です。だからこそ、相手の立場になって考えることができる感性を持った理学療法士が求められているのです。

本学ならではの充実した4年間の学びを通じて  
”人”と接する医療・福祉の専門家を養成

平成19年4月に新設される医療健康学部理学療法学科では、医療専門職の人々と対等な立場で働くことのできる深い専門性と幅広い教養はもちろん、「人」と接する医療・福祉の専門家として、豊かな人間性を備えた理学療法士の養成に取り組んでいきます。

また、理学療法士の知識だけでなく、1年次から段階を踏んで医療現場に携わる自覚や責任感をしっか

りと身に付けていくことができるカリキュラムを編成しています。4年制大学だからこそ、幅広い分野の知識・技術が習得できるのです。さらに、社会福祉学部との連携により、介護や社会福祉に関する知識も身に付けた理学療法士として、長期的・総合的に患者さんをサポートできる人材の育成を目指します。

実践的な教育で「こども」の専門家を養成する  
「こども専攻」開設

同じく平成19年4月には、社会福祉学部社会福祉学科に「こども専攻」が開設されます。保育士資格、幼稚園教諭1種免許、社会福祉士の国家試験受験資格も取得できるカリキュラムを編成。短期大学部で培ってきた保育・幼児教育者養成の実績と、社会福祉学部ならではの優れた専門性を十分に活かしながら、実践的な教育を通じて、「こども」の専門家の養成に努めていきます。

この春には新しい仲間がキャンパスに集います。より充実した本学のこれからにご期待ください。



医療健康学部棟内の講義室

Events

# 大学行事

# 1

## 卒業式 3.18

第3回卒業証書学位授与式が白山市松任文化会館で行われ、194名が社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。式では加藤理事長の告辞、本田学長の式辞、角光雄白山市長、村山美市議会議長、実盛祥隆後援会会長が祝辞を贈りました。卒業生を代表して徳田澄麗さんが答辞を述べました。終了後、会場をホテル日航金沢に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

## 入学式 4.1

第7回入学式が白山市松任文化会館で行われ、2109名が入学し大学生活がスタートしました。

加藤理事長が告辞を述べ、本田学長が「技術力や専門知識だけでなく、思いやりもはぐくんでほしい」と式辞を述べました。続いて、角光雄白山市長、村山美市議会議長、実盛祥隆後援会会長が祝辞を贈りました。新入生を代表して川岸佳奈さんが「悔いのない学生生活を送りたい。先生方や先輩方、よろしくお願いします」と宣誓しました。



## 新入生歓迎会 4.8

平成18年度の新入生歓迎会は、新1年生に1つでも多くのクラブ・サークルを知ってもらおうと、体育館に商店街風のブースを設営して行われました。クイズや風船の当て、クラブ・サークルの体験を交えたウォークラリーなどが催され、劇形式での抽選会も行われました。豪華景品も用意されていたため、とても盛り上がりました。

新入生たちは、在校生や新しい友達と仲良くなるのができ、他にはない金城大学の良さを知ることができた1日だったようです。

## マナーアップキャンペーン

世界保健機構(WHO)策定の「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」が、平成17年2月に発効しました。これによってわが国は、公共の場所における効果的な分煙措置、たばこ製品の販売促進の禁止(または制限)などが義務付けられました。本学も短大部とともに学友会が主体とな



り、6月、11月にマナーアップキャンペーンを実施しました。啓発運動として禁煙促進ポスターの掲示、吸い殻・ゴミ拾いや禁煙商品の配布などを率先的に行いました。

## オープンキャンパス

6.18/7.17/7.30/8.5/8.27/9.17

1年から4年までのキャンパスガイドリーダー44人が、多くの高校生や編入学を希望する短大生たちに、キャンパスライフやクラブ・同好会紹介、介護体験などを通じて、本学の良さを伝えてくれました。平成18年度は華道部や箏曲部、茶道部など、文化系クラブの参加もあり、お茶会やフラワーアレンジメントなど、例年とは一味変わったクラブ紹介となりました。

また、「先輩体験談」では卒業生から仕事のやりがいや厳しさについての話もあり、高校生だけではなく、キャンパスガイドリーダーにとっても、有意義な時間となりました。

新たに開設する医療健康学部や子ども専攻のミニ講義の準備に追われる日々でしたが、その甲斐あって参加者から満足の言葉を多数いただいたオープンキャンパスとなりました。



## 金城祭 10.28~10.29

「奏でてみせよう四重歌―美社ビ幼の心あり―」をテーマに掲げ、第31回金城祭が開催されました。両日とも天候にも恵まれ、田んぼの恵みによるライブ、模擬店、ゼミ発表、体験コーナー、ミニ運動会、ステージでの各イベント等たくさんの催しで盛り上がりました。



## Cultural and Sporting Activities

# クラブ・同好会 2

## 卓球部

私たち卓球部は全国大会上位進出を目指して日々練習に取り組んでいます。

【試合結果】個人/団体、W/ダブルス、S/シングルス/春季北信越学生大会(女子)T:W・S(優勝)、全日本大学対抗大会(女子)T:W・S(優勝)、全日本学生大会(男子)S:ベスト32、秋季北信越学生大会(女子)T:W・S(優勝)、北信越新人大会(女子)W(優勝) (3年/細川嘉織色)



## 女子バレーボール部

北陸三県学生春季リーグ戦(優勝)、春季北信越大学選手権大会(優勝)、北陸三県学生秋季リーグ戦(優勝)、春季北信越大学選手権大会(準優勝)、石川県6人制総合選手権大会(優勝)、全日本大学選手権大会(ベスト32/114大学参加) (3年/小林洋恵)



## 硬式野球部

北陸大学野球連盟春季リーグ戦出場(成績1勝5敗)、金沢市長杯出場(成績1勝1敗)、北陸大学野球連盟新人戦大会出場、北陸大学野球連盟秋季リーグ戦出場(成績1勝5敗)、6月11日NTTクラウドでFarobis QJとの練習試合、10月15日遊学館高校クラウドでRed Bull QJとの練習試合。本学で月水金週3回ほど練習。(3年/杉原久美子)



## 準硬式野球部

平成18年5月に行われた春季北信越大会では、4チームで争う予選リーグを戦い、上位2チームが決勝トーナメント進出でしたが、1勝2敗で3位となり予選リーグ敗退。10月に行われた秋季全国大会北信越予選では、トーナメント2回戦に出場しました。(3年/水橋良行)

## バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、春季北信越リーグ戦や秋季北信越大会インカレ予選、石川県学生バスケットボール大会、石川県会

長杯争奪バスケットボール大会、白山バスケットボール大会に出場しました。学園祭では模擬店を出店し、良い思い出となりました。(2年/和田祐樹)

## キンボール部

5月14日(日)かほく市河北台健康体育館 第15回石川県民スポーツレクリエーション祭キンボール交流会(20名参加) 6月18日(日)兵庫県小野市総合体育館アルゴ兵庫オープン(女子の部3位入賞、7月30日(日)七尾市城山体育館 石川県民デモンストラション大会(アナウンサーと共にチームを組み参加)、11月18日(土)・19日(日)神戸市ワールド記念ホールジャパンオープン(女子の部準優勝) (3年/山口寛勝)

## 硬式テニス部

平成18年度北信越学生テニス大会ダブルスベスト16(平成18年度北信越テニス選手権大会ダブルスベスト8)、平成18年度北信越学生チャレンジシトーナメント大会シングルベスト8、平成18年度北信越新人テニス選手権大会ダブルスベスト8(3年/岡本彩)



## 陸上部

第80回北信越学生陸上競技対校選手権大会 男子1000M・男子2000M・男子やり投げ出場、第37回北信越学生陸上競技選手権大会 男子やり投げ出場 (3年/三谷昌弘)

## ダンス部

週2~6回練習活動を行い、地域のイベント松任祭、獅子祭、笠間祭、加賀野祭、加賀十万石祭、緑団地祭、企業の創業祭、大同工業、大日本インキ、石川トヨタ、施設や児童館、仏子園ひろびる作業所、はまなすの丘、たけまた友愛の家、金沢、小松児童館、片山津小学校、24時間テレビ、子育て支援メッセ等でパフォーマンスや講習会等を行いました。また、最大行事の自主公演は3千人近い集客を得ました。(3年/西川和志)

## 音楽部

今年の音楽部は主催ライブとして3月12日に「卒業ハッピー」、



7月29日の金城夏祭り「FM 69」、10月28日、29日の金城祭音楽部「FM」を行いました。これらのライブには、お客さんとして本学の仲間たちもたくさん駆けつけてくれました。それ以外にも多数のライブに出演、オリジナル自主CDの作成など、積極的に多彩な音楽活動を展開する部員たちもいます。オープンキャンパスや新入生歓迎会などの大学行事にもフル参加で協力しています。(3年/尾塩晃)

## KFC

KFCはフットサルの活動をしており、週に1回という少ない時間ですが、毎回多くの部員が集まり楽しく練習を行っています。平成18年度は大会に参加することができませんでしたが、来年度は多数の大会に参加し、好成績を残せるよう努力していきたいと考えています。(2年/高岡良太)



## レディオ音楽隊

「白山市立笠間公民館」を使用して、演奏会に向けて週に2回の練習を行っています。大会などには出ていませんが、みんなで楽しく楽器を演奏できることを目的として活動しています。

平成19年度は、行事への参加や施設などへの演奏訪問に力を入れていきたいと思えます。(3年/飛騨ゆかり)

## 若葉の笑顔

学内や大学近辺の清掃を行っています。教室またはラウンジの机の整理や落書き消し、学内施設では駐車場やグラウンドなどの大学周辺のゴミ拾い、夏休みには、JR加賀笠間駅周辺のゴミ拾い、徳光の松任海浜公園のゴミ拾いをしました。(1年/長路光華)

## クラブ・同好会代表者研修

6.2~6.3 昨年度に引き続き、平成18年度もクラブ・同好会代表者合宿研修を旧尾口村の、かんの郷 白山尾口で開催しました。各クラブ・同好会、学友会、学生間の親睦を図り、学友会の活動を円滑に行うことを目標としました。学生からの評判も良く、来年度も開催を予定しており、より良い研修となるよう計画しています。



## Academic Activities

# 研究活動 3

## 特別研究活動成果報告会

平成18年4月28日・5月19日に、先生方による特別研究活動成果報告会が行われました。



下村有子教授「視野障害者のための画像変換システム シミュレーションとマッピングシステム」

守屋以智雄教授「メキシコ中央地溝の火山地形」

西郁代子助手「第三者委員の活動実態と活動促進要因に関する調査報告」

藤森宮子助教「介護保険による福祉の市場化と市区町村行政 東京都内の要介護認定調査に関する調査研究」

側垣順子助教・柴田紀子助教「障害をもつ子どもの成長に伴う場所の変遷および支援に関する分析」

木村剛研究員「視野障害者のための画像変換システム2 シミュレーションとマッピングシステム」

岡村綾子講師「ホフンティア活動に対する韓国大学生の態度、平下政美教授「THE EFFECT ON BODY CORE TEMPERATURE OF THE CHANGE IN PERIPHERAL BLOOD FLOW DURING LOWER BODY NEGATIVE PRESSURE」

## 市民参加協力事業活動報告

平成18年12月、国際協力機構(JICA)と金城大学は、市民参加協力事業の合意を交わしました。

事業実施は12月23日から28日までで、ラオス人民民主共和国で2名の教員が活動しました。主な活動は、農村地域の腰痛予防体操、生活習慣病予防の知識普及、住民たちは、楽しみながらも熱心に取り組んでおり、継続した支援活動を望んでいました。



# トピックス 4

## 石川県警本部長講演会 5・12

石川県警本部長の干場謙二氏をお招きし、「石川県の治安の現状と警察の課題」の題で講演が行われました。

講演前半は、映画や警察ミステリー小説など学生の身近な話題を導入し、実際の警察の行政や組織などの全般的な状況に関する内容が語られました。

後半は、石川県内の警察管区および犯罪被害のこれまでの推移や、学生が被害者となる犯罪の現状とその予防法についての内容であり、とくに、近年のサイバー犯罪については、犯罪の手法について細やかに言及し、そのような犯罪に巻き込まれたときの具体的な対処法について強調されました。

講演の内容は、学生にとっても理解しやすいもので、今後の学生生活における防犯意識を高めることもあわせて有意義なものでした。



## 「ゆうがく広場」への取り組み

金城大学社会福祉学部では、平成18年12月に「ゆうがく広場」を開設しました。1回目は近隣のボランティアグループを招聘し、学生と園芸を通じた交流を図りました。交流後の感想では「若い人たちの触れ合いが刺激になった」、学生からは「高齢者とのコミュニケーション」

ケーションが図れて良かった」という声がかれました。

今後は、学生が協力して「ゆうがく広場」の計画・実施に取り組み予定です。4月以降、学内サロン開設も目指しています。

## 北國健康生きがい支援事業

10・17/11・10/11・28

北國健康生きがい支援事業金城大学プログラム（金城大学・北國新聞社主催）を3回に渡り開催しました。

第1回講演会は、炭谷茂氏（環境省顧問）による「健やかに生きよう 環境と福祉の時代」、第2回講演会は、奈良勲氏（神戸学院大学教授）による「元氣をつくる 虚弱・障害・高齢者のための健康体操」、第3回講演会は、水野肇氏（医事評論家）による「糖尿病とのつきあい方」の題で開催され、毎回150名を超える多くの方にご参加いただきました。

第2回講演会では、「元氣」という字の中の「氣」は人間が生きていく元、「健康」という字は構造と機能を持ていくこととし、心身、筋力や体のバランス、柔軟性を保つこと



の重要性が説かれました。また、健康を維持するための効果的な体操が実技を交えて行われ、ご参加者いただいた方々にも大変活気のある充実した講演会となりました。

## 公開講座 11・11/12・9

平成18年度も11月11日・12月9日の毎週土曜日（計10講座）に短大部との共同事業として、公開講座を実施しました。

両学部の先生方による健康や生活に根付いた講義が行われ、大変好評なうちに全日程を終了することができました。

## プロジェクト・ウエルネス 11・27

プロジェクト・ウエルネスの発表会が「白山市民交流センター」で行われました。プロジェクト・ウエルネスとは、白山市と本学学生が共同で市民の健康増進策を探る研究事業で、今年度は以下の発表が行われました。

- ・市内の公共施設での視野障害者の歩行実態の調査（下村ゼミ）
- ・旧白峰村地区一人暮らし高齢者の実態（矢上ゼミ）
- ・市シニアクラブ活動における参加者の意識変化と健康効果（釜土ゼミ）



## 平成18年度地域課題研究ゼミナール発表会 1・14

「平成18年度地域課題研究ゼミナール事業」(大学コンソーシアム石川主催)に、本学の棚田洋一ゼミナールの学生グループが採択されました。白山市選挙管理委員会より提案された「選挙における若年層の投票率向上に関する調査研究」という課題について、棚田ゼミの学生グループが、本学の学生や白山市在住の35歳以下の若年層を対象にアンケート調査を実施し、まとめたものです。

その発表会が石川県広坂庁舎、いしかわシテイカレッジで開催されました。

## 卒業論文・事例研究要旨集刊行

平成18年度より、後援会から卒業論文要旨集を刊行いたしました。この要旨集は卒業研究の内容をまとめたもので、各ゼミごとに発表会も行われました。

4年生は1年間の研究成果を発表し、下級生にも大変参考になりました。



## Supporters' Association

# 後援会 5

## 平成18年度金城大学後援会総会懇親会実施報告



6月17日(土)に平成18年度後援会総会および懇親会が本学で行われました。保護者79名に出席いただきました。

総会では本田学長の挨拶、平成18年度の役員・委員の選出、平成17年度の事業報告・決算報告、会計監査報告、平成18年度の事業案および予算案が、いずれも承認されました。その後、就職支援室長より就職支援対策についての説明が行われました。

懇親会が行われ、教職員にとっても良い意見交換の場となりました。

## 平成18年度役員・委員紹介(敬称略)

- 《会長》 実盛祥隆
- 《副会長》 村中玲子、笠田健治
- 《会計監査》 八島美弥子、高山美紀子



## 〔委員〕

- 《4年生》 青江初美、浅井二郎、土居岸直美、中野仁美、西本清一、端谷宏、益江守、酒井光夫、林彰吾、島時次
- 《3年生》 岩倉正信、徳田由美子、橋本友江、細川悦夫、谷内口信弘、横山弘美、加藤清江
- 《2年生》 瀬戸久美子、坂本真美、西村修一、高岡広義、畠山幸雄、四柳一子、梶由紀子
- 《1年生》 新井恵美子、大西美幸、岡真実、小田切正、鹿野日出、北中博之、木村厚子、西田徹、藤澤忠男、松原久美子

## 保護者個別相談会

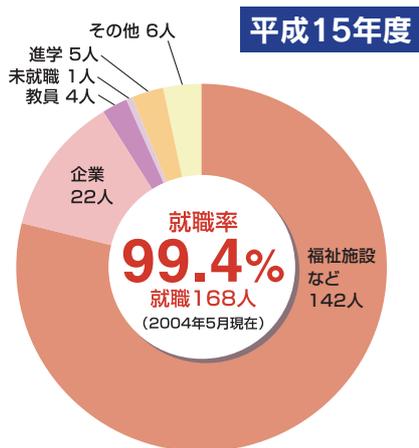
同日、後援会総会后に本学にて個別相談会が開催されました。修学状況(成績)相談・就職進路相談・学生生活など、保護者の方々の希望の相談内容に沿って、個別に担当の教員による相談や助言が行われました。

今回初めての個別相談会にもかかわらず、68名という多数の参加をいただきました。これからも保護者の皆様とともに、より良い教育環境を整備できるように、さらにきめ細やかなサービスを提供するため、平成19年度も継続的に実施する予定です。

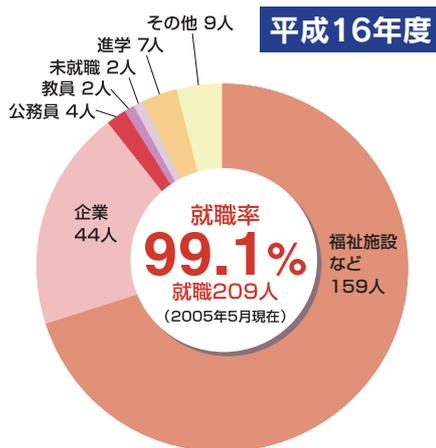
就職進学支援室にて実施しております就職関連支援事業に対しまして、  
日頃より後援会会員皆様のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今回は、過去3年間(平成15~17年度卒)の進路結果と  
平成19年度の支援行事についてご案内をさせていただきます。  
資料を基に、ご家庭で卒業後の進路についてお話しいただく機会をお持ちいただければ幸いです。  
なお、支援室では、後援会の皆様からのご質問・相談等にも応じさせていただきます。  
お気軽にお問い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。

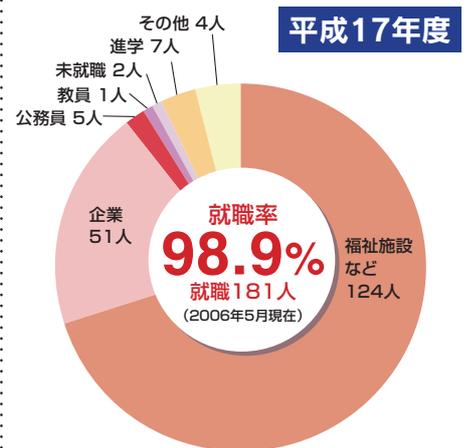
## 平成15~17年度 進路結果



就職率99.4%=就職者数168/就職希望者数169×100



就職率99.1%=就職者数209/就職希望者数211×100



就職率98.9%=就職者数181/就職希望者数183×100

## 平成19年度 支援行事(就職・社会福祉士国家試験対策)

